

会社は、各労働組合の新賃金要求に対して「昇給係数2」を回答

55歳以下の皆さん 定昇半額で 本当に良いのですか？

JR東日本は発足後、どのような厳しい時期でも定期昇給だけは切り下げず実施してきましたが、今回は経営状況の厳しさを理由に、初めて**定期昇給を半額**とする判断をしました。

ただし、その根拠は曖昧です。就業規則を見渡しても、会社の経営状況によって昇給係数を定めるなどとは一文もありません、これを見過ごしては何でも出来てしまいます。

そもそも、定期昇給とは、普通に働いていれば4月1日に所定昇給額は上げるシステムのはずであり、多くの社員がそのように思っていたはずです。

< 30歳主任・定年まで働いた場合(30年間) >

昇給係数4の場合 昇給額5,900円×12カ月×30年=2,124,000円

昇給係数2の場合 昇給額3,000円×12カ月×30年=1,080,000円

実に、▲1,044,000円の減収！

さらに、基本給を基に算出する、超勤・都市手当・夏冬の手当や退職金にも影響が！

コロナ禍による経営への打撃は事実ですが、
将来への投資を着実に進めるJR東日本です。

**安心して
ください！！**

< 国労は求めます！ >

- ① 今回の判断は、就業規則（組合未加入者）や労働協約（組合加入者）の、どの条文に基づき行ったのか明らかにすること！
- ② 速やかに、「昇給係数2」を回復すること！

安心して働き続けるため

国労に加入しよう！